

論究 新時代の 弁護士

2024年
10月3日
発売

A5判 752ページ
定価(本体13,200円+税)
ISBN 978-4-335-36002-2



多様化社会における弁護士の役割と倫理

高中正彦 弁護士(高中法律事務所) [編]
石田京子 早稲田大学法学学術院教授

弁護士を巡る現代的課題と
弁護士倫理を巡る最先端の
課題の「いま」と「これから」

弁護士数の著増と弁護士像の多元化、法律事務所の法人化と巨大化、営利事業従事・広告の自由化、弁護士の不祥事多発と懲戒制度運用の混乱、隣接法律専門職の権限拡張、裁判のIT化――。

社会の変化に伴って劇的な変化が生じている弁護士について、第1部では弁護士の役割をめぐる現代的課題を、第2部では弁護士倫理をめぐる最先端の課題を、31名の研究者・実務家が論じた総合的な論文集です。

目次

第1部 弁護士制度をめぐる諸問題

- 序 2050年の弁護士の姿を予測する [高中正彦]
1 弁護士コミュニティの多様化とプロフェッショナル性 [渡辺千原]
2 「弁護士の国際化」の現状と課題 [須網隆夫]
3 組織内弁護士――弁護士のプロフェッショナル性をめぐる論点のクロスロード [平田彩子]
4 若手弁護士が直面する諸問題 [澁谷 歩]
5 地方都市の弁護士の実情と展望
――人口減・高齢化・厳しい経済状況のなかで [稲田知江子]
6 大規模法律事務所の成長の過程と運営に関する今日的課題 [石原 修]
7 競争時代下の弁護士の姿と弁護士自治制維持上の課題 [市川 充]
8 弁護士懲戒における裁量の範囲と司法審査 [加藤新太郎]
9 濫用的懲戒請求を巡る諸問題 [神田安積]
10 弁護士会の指導監督権の限界 [高中正彦]
11 弁護士会照会の報告義務等を巡る諸問題 [石黒清子]
12 弁護士の継続研修におけるジェンダー視点 [南野佳代]
13 司法アクセスの保障と弁護士の役割 [池永知樹]
14 弁護士の法律事務独占と「事件性」を巡る諸問題 [伊藤論文]
15 司法書士・行政書士の業務権限と非弁問題 [井上英昭]

第2部 弁護士倫理をめぐる諸問題

- 序 弁護士倫理の「これから」を展望する [石田京子]
1 弁護士依頼者関係と弁護士倫理――心理と環境 [飯田 高]
2 弁護士の「独立性」を巡る諸問題 [石畔重次]
3 弁護士の第三者に対する責任 [榎本 修]
4 弁護士の本人確認義務――地面師事案における弁護士の責任 [西田弥代]
5 守秘義務を巡る諸問題 [手賀 寛]
6 遺言執行者と後見人等を巡る諸問題 [藤川和俊]
7 第三者委員会等と弁護士職務基本規程 [高橋 司]
8 社外通報窓口を巡る実務上の諸問題
――顧問弁護士による「受付」業務を中心に [鳥山半六]
9 社外役員に関する弁護士倫理上の課題 [安藤知史]
10 利益相反規律の問題について
――利益相反の同意解除と利益相反解除を狙った事件辞任 [太田秀哉]
11 弁護士法25条利益相反禁止違反行為を巡る諸問題 [田村陽子]
12 共同事務所・弁護士法人における利益相反対策 [桑山 斉]
13 共同事務所の離脱・移籍を巡る諸問題 [加戸茂樹]
14 業務承継の対価授受をめぐる弁護士倫理の課題
――引退に伴う事業譲渡を中心にして [馬場 陽]
15 弁護士の広告活動を巡る諸問題 [上妻英一郎]
16 技術革新と弁護士倫理 [石田京子]